

2025 新春号 総合版

ふれあいだより



「第27回アジアキリスト教病院協会総会」が沖縄で開催され、下山専務と施設職員がフラダンスを披露させていただきました。

子供が落ちつく栄養の摂り方 - 質的栄養失調を改善しよう - 講演報告

10月6日(日) 具志自治会館・公民館で下山理事長が講演を行いました。一般社団法人はなぞの様
たから
のご協力のもと、高良小学校区まちづくり協議会準



備会と共催開催のセミナーでした。学校や保育園関係者、管理栄養士、看護師、介護福祉士など、32名にご参加いただきました。分子栄養学に基づき、子どもたちの食事や栄養バランスが心身の発達へ与える影響などをお話し、終了後には熱心な質問がたくさん寄せられました。また、新クリニックでの分子栄養学外来開設の要望等多くのご意見も頂戴し、大変有意義な講演会となりました。



那覇セントラルクリニック (仮称) ナーシングホームめぐみ 工事進捗

4月の開院までわずか2か月となりました。内装工事以外にも、医療機器、設備環境、行政申請など着々と準備を進めています。好縁会グループのミッションである「高品質の医療・介護サービスを提供し、多くの人の幸せに貢献する」を念頭に、この沖縄でもより多くの方々のお力になれるよう邁進してまいります。

新しいスタートを私たちと一緒に！
スタッフ募集しています！
募集要項はQRコードから

- ・介護職
- ・看護師
- ・医療事務
- ・調理補助
- ・清掃業など



一方で、2024年は私たちにとって飛躍の年でもありました。発達支援教室の運営開始、「別邸竹の里」のオープン、そして沖縄県那覇市での複合施設の開設準備と、数々の新たな挑戦が実を結びました。特に、4月に本格稼働を開始

した。昨年は、原材料費や人件費、電気料金の高騰といった厳しい経営環境の中、セントラルキッチン事業の終了という苦渋の決断をいたしました。地域の高齢者に「食」で健康を届けたいという思いで始めた事業だけに、重い決断ではありましたが、成長が期待される分野に経営資源を集中させるための選択でもありました。この場を借りて、これまでこの事業に尽力してくださった皆さまに心から感謝を申し上げます。

旧年中は、それぞれの持ち場で熱意をもって業務に取り組んでいただき、心より感謝申し上げます。2024年は好縁会30周年を迎える記念の年でしたが、試練と挑戦の連続でした。しかし、そのような状況におきましても皆さまの努力により数々の成果を得ることができました。

新年あけましておめでとうございます。

謹賀新年

その那覇の複合施設は、医療と介護が連携した地域包括ケアの拠点として、また若い医師の教育拠点として、地域社会への貢献を目指す私たちの象徴的なプロジェクトです。

また、昨年は新たな仲間を迎えました。株式会社コーポレーションパルスターがグループの一員となり、これにより、転倒予防をはじめとした高齢者支援の分野における価値創造がさらに加速しました。1995年の創業以来培われたノウハウに、当法人グループのリソースを掛け合わせることでシナジー効果が生まれ、売上の拡大にもつながっています。本年も「ご利用者の日常生活の質の向上」をテーマに、社会に貢献する企業グループとして飛躍を目指してまいります。

2025年は依然として経営環境は楽観できるものではありませんが、「乗り越えられない壁はない」をスローガンに、社員一人ひとりが前向きな気持ちで挑戦を続け、地域や社会に貢献し続けていきたいと思います。

このような挑戦と変革の時期にあたり、改めて思い出すのが、渋沢栄一が説いた「論語とそろばん」の精神です。論語が示す「道徳」や「人の道」に基づき、そろばんが象徴する「経済的合理性」や「利益」を

両立させることは、私たちの経営においても必要不可欠な考え方です。事業活動を通じて、利用者や地域社会の幸福を追求する「論語」の心を大切にしつつ、持続的な成長と経営の健全性を守る「そろばん」の視点も忘れない。この両者を両立させることこそが、私たちのさらなる飛躍の鍵になると考えています。

「論語」の教えが示すように、私たちは誠実に、正しいことを実行し続けます。同時に「そろばん」のような冷静な視点を持ち、時には困難な決断を下す勇気も必要です。セントラルキッチン事業の終了はその象徴的な事例でしたが、そこから新たな未来への投資を進める道筋が開けました。2025年は、論語とそろばんの両輪をさらに強化し、変化を恐れず、着実な成長を目指していきましょう。

医療法人好縁会 下山直登

私たち一人ひとりの努力が未来を創ります。職場が笑顔と活気に満ちた場所であり続けるよう、私も全力で支援してまいります。

